

**Q1** 小規模保育園の開設を  
求める。

**質問** 鶴来地域北部で人口が増えていて、鶴来地域の0歳児から2歳児が保育園に入れないので、小規模保育園の開設を許可すべきである。

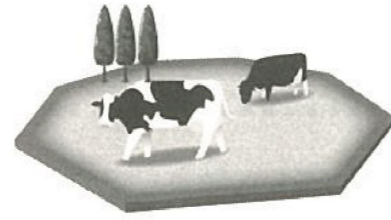
**答え** 平成28年度中に、方向性を定め、既存の保育園の定員の増加や増築、小規模保育園の整備など検討し適切に対応したい。



**Q2** 酪農家に対するのTPP対策の支援策は。

**質問** 市独自の酪農ヘルパー制度の導入や堆肥や牛の移動・放牧のためトラック等の市独自の補助制度や飼料の助成制度を創設すべきであり、市独自の支援策を示せ。

**答え** 県酪農業協同組合などの関係団体と連携し支援を検討していく。トラックの支援は酪農家と相談していく。



**Q3** 市内の人口の南北格差是正の施策は。

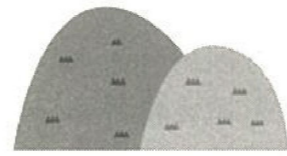
**質問** 白山市の南北の人口格差是正と将来の人口減少に対応するため鶴来地域で、新しい土地区画整理事業の立ち上げを指導し推進せよ。

**答え** 国の方針では厳しい状況であるが、人口減少対策として土地区画整理事業は有効な手段であり関係機関と十分協議していく。

**Q4** 舟岡山一帯の整備は。

**質問** 白山市の観光のシンボルである白山比咩神社を中心とした獅子吼高原一帯、舟岡山一帯や古宮公園一帯を観光の拠点とするため、舟岡山一帯の整備構想を早急に策定し事業化をすべきである。また、舟岡山城跡調査整備事業の進捗状況と今後のスケジュールは。

**答え** 白山ろくテーマパーク整備の中で、吉野工芸の里整備が完了後に県に要望していく。

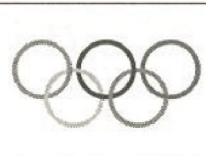


**Q5** 2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地の誘致は。

**質問** 6つの誘致競技(トランポリン・新体操・バレーボール・フェンシング・柔道・卓球)から1つに、いつ決めるのか。体育協会や関係する競技団体の要望状況と今後の誘致活動のスケジュールと誘致活動の負担経費の見込み額は。

**答え** 競技団体の意見を聞き、早期に絞り込みをする。  
**質問** 障害者スポーツの振興の取り組み状況と支援策、策定計画は。

**答え** 次期の白山市スポーツ推進計画で見直しをしていく。



**Q6** 平成27年11月26日に国土交通省主催による、「まちづくり・住まいづくりに関する市長村長との意見交換会」の内容は。(参加自治体、白山市・富山県上市町・新潟県上越市)

**質問** 選定された経緯と会議の内容と成果は。また、両自治体で参考となるものは、何か。

**答え** 観光資源の豊富さで選定された。両自治体とも人口減少対策に対する施策に積極的であり、人口減少対策の重要性を再認識した。

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ  
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業  
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業  
昭和55年3月 神奈川大学経済学部卒業  
平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員  
平成17年3月～ 白山市議会議員  
平成19年3月～20年3月 白山野々市広域事務組合議会議員  
平成23年3月～24年3月 白山市議会副議長(第7代)  
平成25年3月～26年3月 白山石川医療企業団議会議員  
平成26年3月～27年3月 白山市議会議員(第10代)

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員  
てらこし 和洋  
後援会事務所  
〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

●E-mail: terakos@asagaotv.ne.jp  
●メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp  
●メールアドレス terakoshikazu@gmail.com  
●携帯電話 090-7088-0000

白山市議会議員



てらこし和洋  
白山市議会通信

2016年4月号

桜の花も散り始め新しい息吹が感じられる今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

さて、4月から新しい年度も始まり、学校や社会などそれぞれの各分野での新一年生が誕生し今後の成長活躍へ向かって一歩がスタートしました。

白山市においても平成28年度予算を可決し速やかな執行を行わなければなりません

そして、白山市誕生12年目に入り、新しく第二次白山市総合計画を今年中に策定しなければなりません。キーワードは、「健康・笑顔・元気」であり平成29年度から平成38年度までの10年間の白山市の在り方を定めます。

同時に金沢市を中心とした連携中枢都市圏形成に係る取組みを間違いのないように今後取り組んでいかなければなりません。この連携中枢都市圏構想は、国が進める地方創生「まち・ひと・しごと」ということで地方に元気を植え付ける一環であります。その中には将来的には道州制への道筋であるように思われますが、連携中枢都市圏構想は5年間と限られていますので、道州制の道りには時間がかかると思います。

白山市の財政も、合併条件の国の交付税の段階補正が2年目に入ります。平成31年度には段階補正終了し41億円交付税が減額されますので今後さらに効率的な財政運営が必要となってきます。

その一方で、ジャパンディスプレイの5月の操業や、日機装の本社機能の白山市移転、中村留精密工業やEIZOや金沢村田製作所の工場増設などの関係により、法人税の増収に期待がされる状況であります。

平成28年度予算は、一般会計495億5200万円、総額850億2400万円であり、その中身は、新幹線効果の持続性や白山白川郷ホワイトロードの交通量増大による交流人口拡大から、平成29年の白山開山1300年に向けての事業や、新しく白山市文化振興条例を制定し、各種の地域文化財の掘り起こしをすることで市民の皆様様の郷土愛の熟成の推進を行うものであります。

また、各公民館を中心として地域の活性化のため市民提案型まちづくり支援事業が導入され地域の賑わいの創出を図っていきますが、単なるバラマキ事業とならないよう注視しなければなりません。

さて議会の方では、正副議長が入れ代り新しい体制でスタートしておりますが、その他の人事は入れ代りが少なく、私は白山市初代の予算常任委員会委員長として2年目に入り、これまで以上に市民に解かり易い予算常任委員会の機能充実を行ってまいります。そして、広報広聴常任委員長も2年目に入りますが、議会人の在り方、今後市議会議員として目標を持つ人のため議会人の役割を表していきたいと思えます。同時に、これまで以上に市民の皆さんと議会の距離を縮める親しまれる議会づくりに邁進してまいりたいと思えます。

議員の中には、行政事務の停滞に口入れする議員や自己中心主義の考え方、スタンドプレイのみが目立つ議員がいる昨今、市民の奉仕者としての自覚が足りないように思えます。

来年2月には白山市議会議員選挙がおこなわれるわけですが、新しい議員の参画に期待するところであります。

さて、今年に入り久しぶりの暖冬でありました。今後夏の水不足や予期もしないゲリラ豪雨の心配をしながら安心して暮らすため安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。さらに皆様方から市政に対するご意見を頂戴しながら、皆様のご意見を活かして市民の負託に応えていきたいと思えます。

終わりに今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、ご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



議会での役職

予算常任委員会委員長(初代)/広報広聴常任委員会委員長/白山石川医療企業団議会監査委員/産業建設常任委員会委員/地方創生特別委員会委員

その他の役職

白山市サッカー協会会長/白山市相撲連盟会長/石川県フィンランド友好協会副会長/石川県サッカー振興議員連盟会員/クレイニングランドゴルフクラブ会長/元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長